

3

ここは、とある家^{いえ}の子ども部屋^{こべや}です。

この部屋^{へや}には、子どものおもちゃ^こがたくさんありました。
ふかふかのぬいぐるみ^きや、木の人形^{にんぎょう}、ピエロ^とが飛び出す^だ
びっくり箱^{ばこ}など。

おもちゃたちは、昼間^{ひるま}人間^{にんげん}たちが起きて^おいるうちは、みんな
じっとしていましたが、夜^{よる}になり、人間^{にんげん}たちが眠^{ねむ}りにつく
と、それぞれ動き出^{うご}し、おしゃべり^だをしたり、歌^{うた}を歌^{うた}ったり
と、楽しく^{たの}過ご^すしていました。

「やあマリー、こんにちは！」

「こんにちは、ロラン。ごきげんいかが？」

羊飼^{ひつじか}いの女^{おんな}の子^この人形^{にんぎょう}にあいさつ^{えんとつそうじ}をしたのは、煙突掃除
の格好^{かっこう}をした、男^{おとこ}の子^この人形^{にんぎょう}でした。

煙突掃除^{えんとつそうじ}の『ロラン』と、羊飼^{ひつじか}いの『マリー』は、お互^{たが}
いに恋^{こい}をしていました。



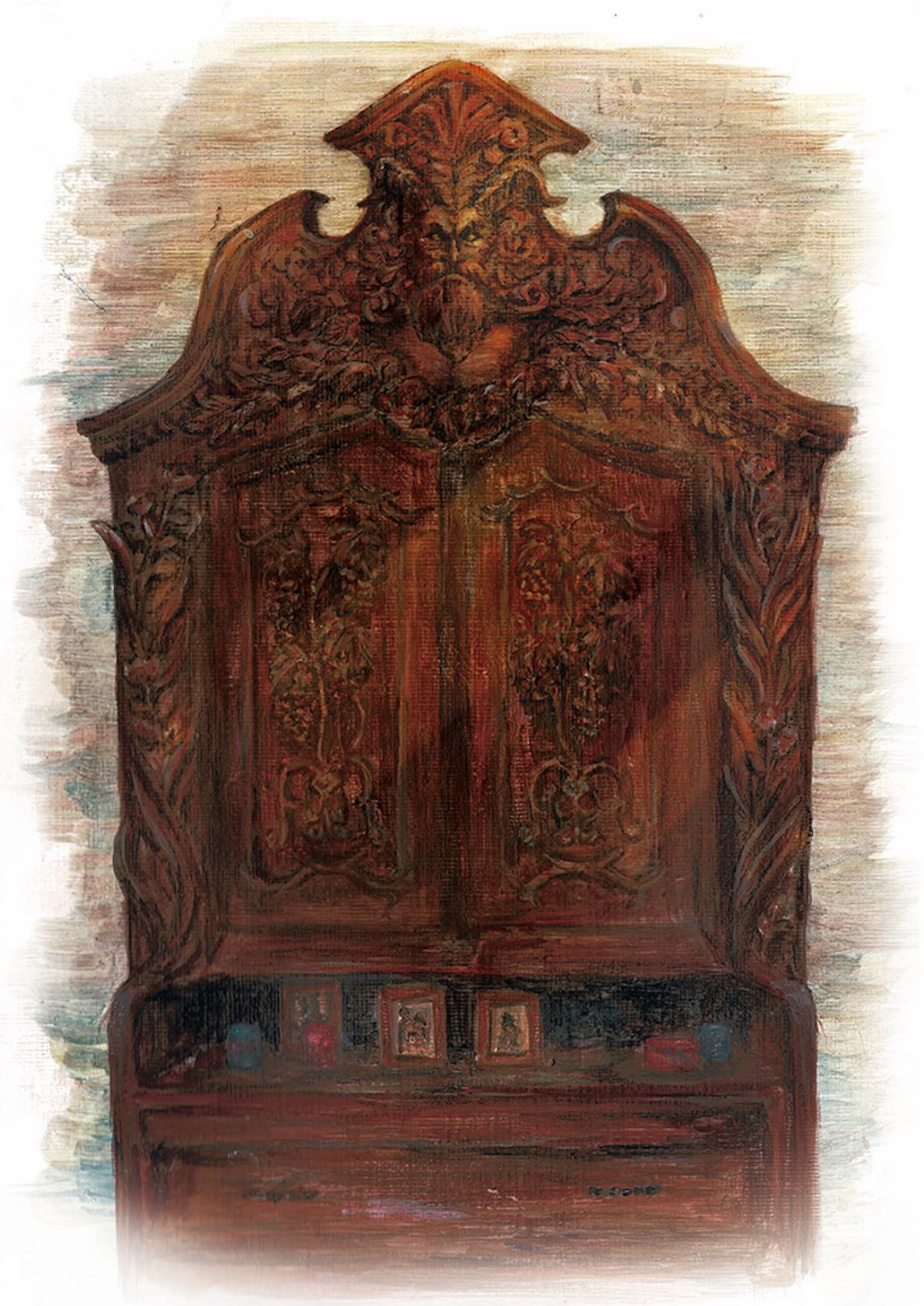
さて、このロランとマリーが楽しそうに話している姿を、
遠くから見つめている男がいました。彼は、この部屋のお
もちゃたちから『ヤギ将軍』と呼ばれている、戸棚に彫ら
れた木の彫刻でした。

「ロランめ、汚らしい煙突掃除のくせに、マリーとなれな
れしくしおって・・・」

実はヤギ将軍も、マリーのことが好きだったのです。

マリーには、もう一人、仲の良い人形がいました。みんな
から『グランパ』と呼ばれている、首の部分がバネになっ
ている、首振り人形のおじいさんでした。マリーはグラン
パに、色々なことを相談していました。

その日もマリーは、グランパの元へいきました。



Here is a child's room in someone's house.

In this room, there were a lot of that child's toys: fluffy stuffed toys, wooden dolls, as well as a jack-in-the-box.

When people were awake during the day, the toys there stayed still, but when it was late at night, after people went to sleep, each toy started to move around and enjoyed talking and singing together.

"Hi, Marie!"

"Hi, Laurent. How are you doing?"

The one greeted the shepherdess was a toy boy dressed in a chimney sweep outfit.

The chimney sweep *Laurent* and the shepherdess *Marie* were in love with each other.



Now, there was a man watching Laurent and Marie having a pleasant chat from afar. The man was a wooden statue carved on a cabinet and the other toys in the room called him *General Goat*.

"Damn Laurent, how dare you talk to Marie. You're nothing but a dirty chimney sweep."

Actually, General Goat also loved Marie.

Marie had one more close friend. It was an old man bobble head toy, whose neck was made of spring, and everyone called him *Grampa*. Marie often talked with him about many things, asking for advice.

That day too, Marie visited Grampa.

